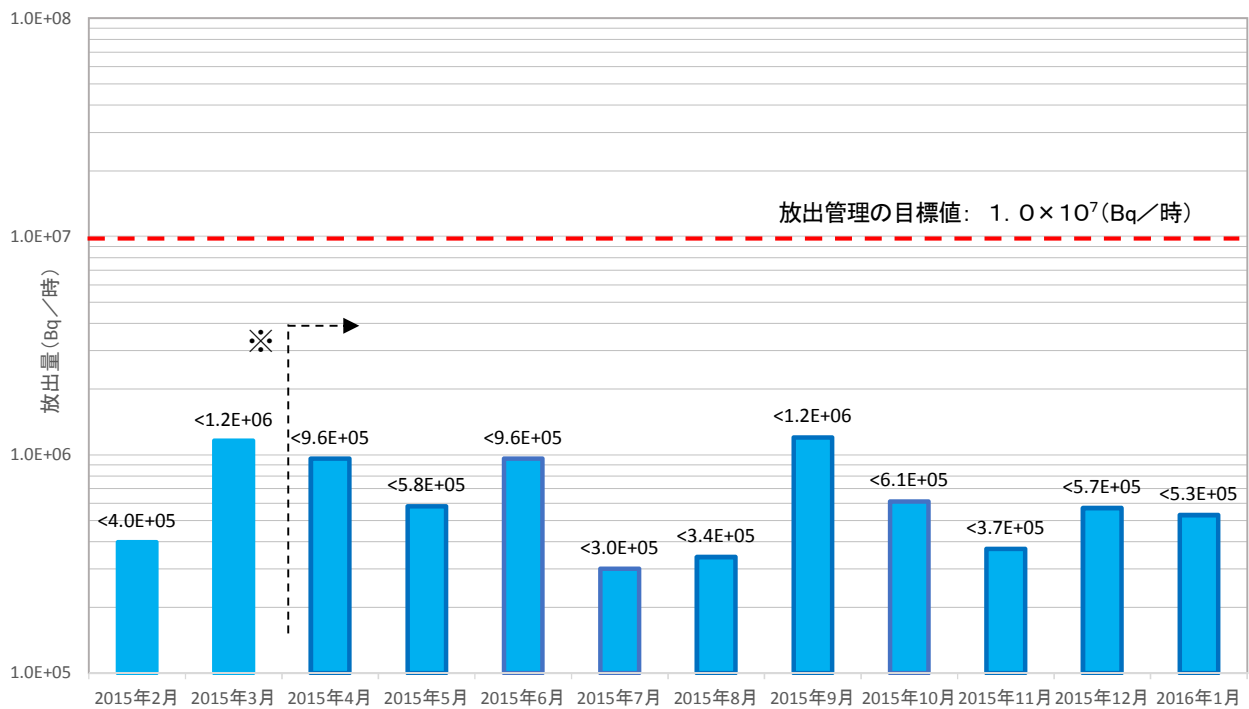


原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果(2016年1月)

【評価結果】

- 2016年1月における1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量を評価した結果、 5.3×10^5 (Bq/時)未満であり、放出管理の目標値(1.0×10^7 Bq/時)を下回っていることを確認した。
- 本放出における敷地境界の空气中放射性物質濃度は、Cs-134: 3.1×10^{-11} (Bq/cm³)、Cs-137: 1.2×10^{-10} (Bq/cm³)であり、当該値が1年間継続した場合、敷地境界における被ばく線量は、年間0.0014mSv未満となる。

参考： 実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則の規定に基づく線量限度等を定める告示
 周辺監視区域外の空气中の濃度限度…Cs-134: 2×10^{-5} (Bq/cm³)、Cs-137: 3×10^{-5} (Bq/cm³)



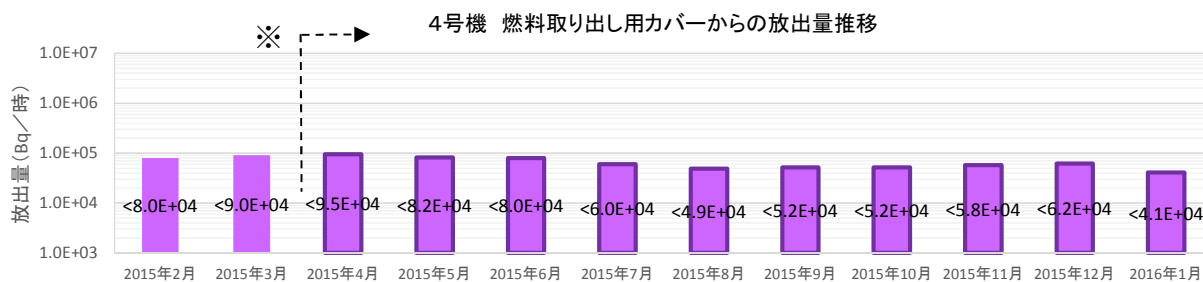
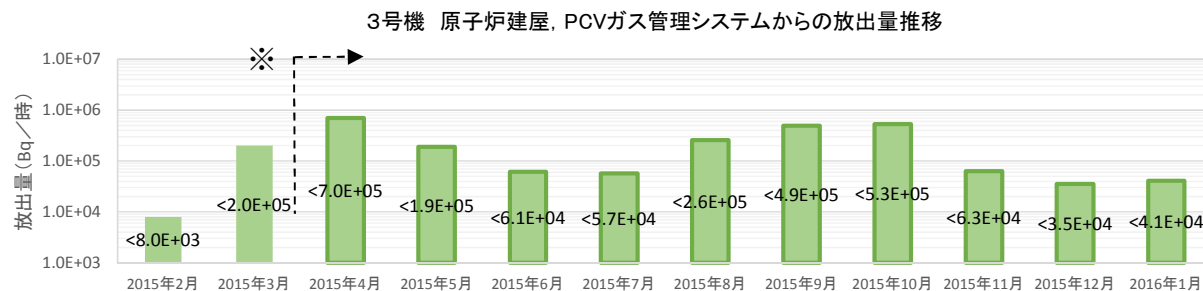
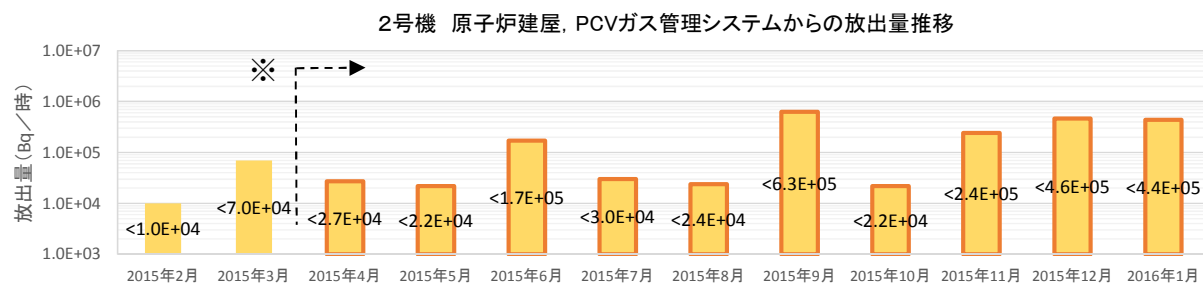
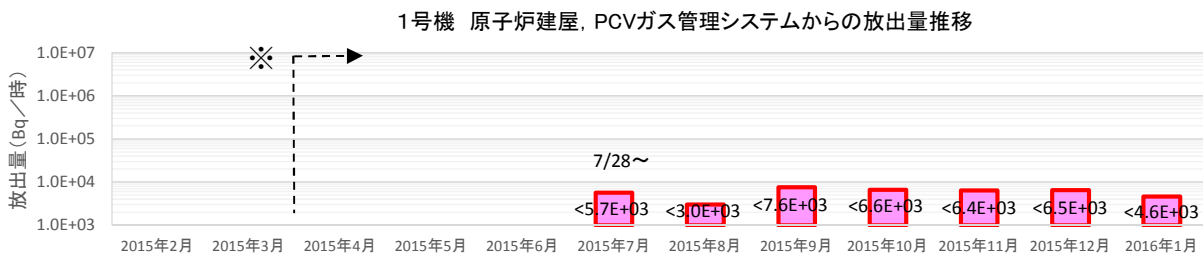
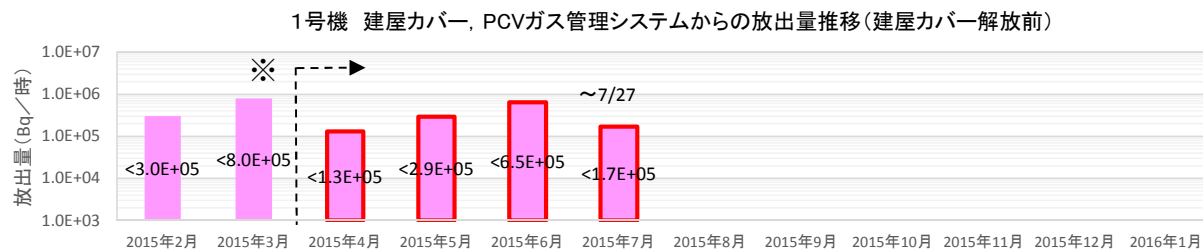
端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。

※月一回の測定結果による評価手法から、連続性を考慮した評価手法に変更

【評価手法】

- 1～4号機原子炉建屋からの放出量(セシウム)を、原子炉建屋上部等の空气中放射性物質濃度(ダスト濃度)、連続ダストモニタ及び気象データ等の値を基に評価を実施。(詳細な評価手法については別紙参照)
- 希ガスについては、格納容器ガス管理設備における分析結果から放出量を評価しているが、放出されるガンマ線実効エネルギーがセシウムに比べて小さく、被ばく経路も放射性雲の通過による外部被ばくのみとなるため、これによる被ばく線量は、セシウムによる被ばく線量に比べて極めて小さいと評価している。

【各号機における放出量の推移】



※月一回の測定結果による評価手法から、連続性を考慮した評価手法に変更

《評価》

12月と比較して1号機～4号機は、先月の放出量評価結果とほぼ同等であった。2号機は、先月と同様に建屋内の除染作業に伴い排気設備入口の空气中放射性物質濃度が増加したため、放出量が増加した状態が継続された。

1～4号機原子炉建屋からの 追加的放出量評価結果 2016年1月評価分 (詳細データ)



東京電力

1. 放出量評価について

■放出量評価値(1月評価分)

単位: Bq/時

	原子炉建屋上部		PCVガス管理システム			Cs-134,Cs-137合計値		
	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	希ガス	Cs-134	Cs-137	合計
1号機	1.5E3未満	3.1E3未満	1.2E1未満	1.2E1未満	2.6E7	1.5E3未満	3.1E3未満	4.6E3未満
2号機	8.4E4未満	3.5E5未満	1.3E1未満	2.3E1未満	1.1E9	8.4E4未満	3.5E5未満	4.4E5未満
3号機	7.9E3	4.5E4	2.0E1未満	3.3E1未満	1.6E9	8.0E3未満	3.3E4未満	4.1E4未満
4号機	1.5E4未満	2.7E4未満	—	—	—	1.5E4未満	2.7E4未満	4.1E4未満
合計	—					1.1E5未満	4.2E5未満	5.3E5未満

■放出量評価値(12月評価分)

単位: Bq/時

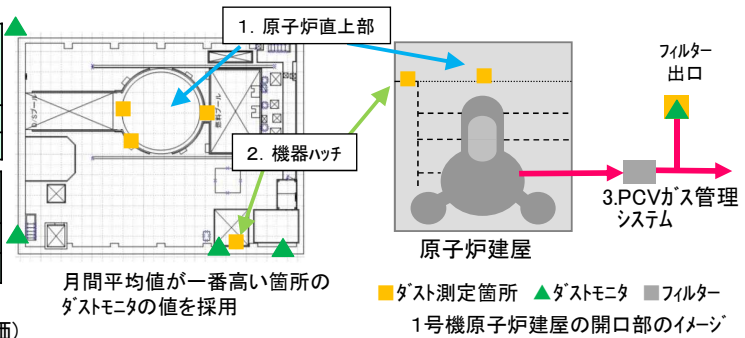
	原子炉建屋上部		PCVガス管理システム			Cs-134,Cs-137合計値		
	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	希ガス	Cs-134	Cs-137	合計
1号機	1.5E3未満	4.9E3未満	3.1E1未満	6.0E1未満	3.5E7	1.6E3未満	4.9E3未満	6.5E3未満
2号機	9.3E4未満	3.7E5未満	9.9E0未満	1.8E1未満	1.2E9	9.3E4未満	3.7E5未満	4.6E5未満
3号機	9.8E3未満	2.5E4	2.9E1未満	4.8E1未満	1.3E9	9.8E3未満	2.5E4未満	3.5E4未満
4号機	2.2E4未満	4.0E4未満	—	—	—	2.2E4未満	4.0E4未満	6.2E4未満
合計	—					1.3E5未満	4.4E5未満	5.7E5未満

2.1 1号機の放出量評価

1. 原子炉直上部

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	原子炉 ウェル上部 北側	①原子炉 ウェル上部 北西側	原子炉 ウェル上部 南側
1/7	Cs-134	ND(1.0E-6)	ND(1.1E-6)	ND(1.1E-6)
	Cs-137	2.0E-6	3.5E-6	2.0E-6
		②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②
ダスト モニタ値		2.5E-6	3.8E-6	Cs-134 4.5E-1 Cs-137 1.4E0



(2)月間漏洩率評価: 216m³/h

(2016.1.1現在の崩壊熱より蒸気発生量(0.06m³/s)を評価)

2. 建屋隙間

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①機器ハッチ		
1/7	Cs-134	ND(4.9E-7)		
	Cs-137	ND(8.7E-7)		
		②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②
ダスト モニタ値		2.3E-6	4.0E-6	Cs-134 2.2E-1 Cs-137 3.8E-1

(2)月間漏洩率評価: 1.281m³/h

3. PCVガス管理システム

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①PCVガス管理システム出口	核種	PCVガス管理システム出口 月間平均値(Bq/cm ³)
1/26	Cs-134	ND(5.3E-7)	Kr-85	1.2E0
	Cs-137	ND(5.3E-7)		
		②ダスト採取期間 (cps)	月間平均 (cps)	相対比 ①/②
ダスト モニタ値		2.0E1	2.0E1	Cs-134 2.7E-8 Cs-137 2.7E-8

(2)月間平均流量結果: 22m³/h

4. 放出量評価

原子炉直上部+建屋隙間(Cs-134)	= 3.8E-6 × 4.5E-1 × 216 × 1E6 + 4.0E-6 × 2.2E-1 × 1281 × 1E6	= 1.5E3Bq/時未満
原子炉直上部+建屋隙間(Cs-137)	= 3.8E-6 × 1.4E0 × 216 × 1E6 + 4.0E-6 × 3.8E-1 × 1281 × 1E6	= 3.1E3Bq/時未満
PCVガス管理システム(Cs-134)	= 2.0E1 × 2.7E-8 × 22E6	= 1.2E1Bq/時未満
PCVガス管理システム(Cs-137)	= 2.0E1 × 2.7E-8 × 22E6	= 1.2E1Bq/時未満
PCVガス管理システム(Kr)	= 1.2E0 × 22E6	= 2.6E7Bq/時
PCVガス管理システム(Kr被ばく線量)	= 2.6E7 × 24 × 365 × 2.5E-19 × 0.0022 / 0.5 × 1E3	= 2.5E-7mSv/年

※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。知的財産 取扱注意

2

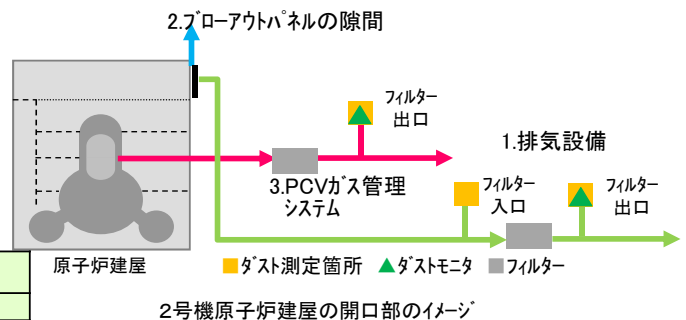
2.2 2号機の放出量評価

1. 排気設備

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①排気設備出口		
1/12	Cs-134	ND(3.1E-7)		
	Cs-137	ND(5.3E-7)		
		②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②
ダストモニタ値		1.7E-7	1.9E-7	Cs-134 1.8E0 Cs-137 3.0E0

(2)月間排気設備流量: 10,000m³/h



2.フロアアウトパネルの隙間

(1)ダスト測定結果*(単位Bq/cm³)

	核種	排気設備 入口
月間平均値	Cs-134	5.3E-6
	Cs-137	2.3E-5

※1/7 建屋内の除染作業に伴い、排気設備入口のダスト濃度が上昇。このため、作業日当日の1/7に4回、ダスト濃度が平常値に落ち着いたことを確認するために1/12に1回、計5回ダスト採取を行った。その結果より月間平均値を評価した。詳細は次ページ参照。

(2)月間漏洩率評価: 15,091m³/h

3. PCVガス管理システム

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①PCVガス管理システム出口	核種	PCVガス管理システム出口 月間平均値(Bq/cm ³)
1/12	Cs-134	ND(1.5E-6)	Kr-85	6.3E1
	Cs-137	ND(2.7E-6)		
		②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②
ダストモニタ値		1.1E-5	5.0E-6	Cs-134 1.4E-1 Cs-137 2.5E-1

(2)月間平均流量結果: 18m³/h

4. 放出量評価

排気設備出口+フロアアウトパネルの隙間(Cs-134)	= 1.7E-7 × 1.8E0 × 10000 × 1E6 + 5.3E-6 × 15091 × 1E6	= 8.4E4Bq/時未満
排気設備出口+フロアアウトパネルの隙間(Cs-137)	= 1.7E-7 × 3.0E0 × 10000 × 1E6 + 2.3E-5 × 15091 × 1E6	= 3.5E5Bq/時未満
PCVガス管理システム(Cs-134)	= 5.0E-6 × 1.4E-1 × 18E6	= 1.3E1Bq/時未満
PCVガス管理システム(Cs-137)	= 5.0E-6 × 2.5E-1 × 18E6	= 2.3E1Bq/時未満
PCVガス管理システム(Kr)	= 6.3E1 × 18E6	= 1.1E9Bq/時
PCVガス管理システム(Kr被ばく線量)	= 1.1E9 × 24 × 365 × 2.4E-19 × 0.0022 / 0.5 × 1E3	= 1.1E-5mSv/年

※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。知的財産 取扱注意

3

2.2 2号機の放出量評価(ブローアウトパネルの隙間)

1.ブローアウトパネルの隙間のダスト測定結果について

	採取日時	排気設備入口 (Bq/cm ³)	
		Cs-134	Cs-137
①	1/7 8:12~10:12	2.4E-4	1.0E-3
②	1/7 10:14~12:14	1.3E-4	5.4E-4
③	1/7 12:16~14:17	4.4E-5	1.9E-4
④	1/7 14:20~15:47	1.6E-5	7.0E-5
⑤	1/12 11:18~13:18	1.6E-6	7.2E-6

※ダスト飛散時間の考え方について

- ① 作業開始時刻 1/7 7:10 から2回目ダスト採取開始時刻 1/7 10:14までの3時間4分
- ② 2回目ダスト採取開始時刻 1/7 10:14 から3回目ダスト採取開始時刻 1/7 12:16 までの2時間2分
- ③ 3回目ダスト採取開始時刻 1/7 12:16 から4回目ダスト採取開始時刻 1/7 14:20 までの2時間4分
- ④ 4回目ダスト採取開始時刻 1/7 14:20 から5回目ダスト採取開始時刻 1/12 11:18 までの116時間58分
- ⑤ 1/1~1/31までの期間における①~④以外の時間 619時間52分

2.ブローアウトパネルの隙間の月間平均ダスト濃度評価

ブローアウトパネルの隙間の月間平均ダスト濃度(Cs-134)

$$\frac{2.4E-4 \times 3時間4分 + 1.3E-4 \times 2時間2分 + 4.4E-5 \times 2時間4分 + 1.6E-5 \times 116時間58分 + 1.6E-6 \times 619時間52分}{744時間} = 5.3E-6Bq/cm^3$$

ブローアウトパネルの隙間の月間平均ダスト濃度(Cs-137)

$$\frac{1.0E-3 \times 3時間4分 + 5.4E-4 \times 2時間2分 + 1.9E-4 \times 2時間4分 + 7.0E-5 \times 116時間58分 + 7.2E-6 \times 619時間52分}{744時間} = 2.3E-5Bq/cm^3$$

※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。知的財産 取扱注意

4

2.3 3号機の放出量評価

1. 原子炉直上部

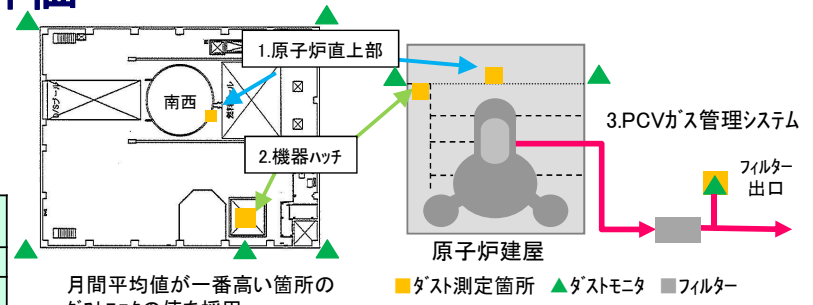
(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①南西
1/20	Cs-134	1.0E-6
	Cs-137	5.5E-6

ダストモニタ値	②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②	
			Cs-134	Cs-137
	3.7E-6	3.5E-6	2.7E-1	1.5E0

(2)月間漏洩率評価: 252m³/h

(2016.1.1現在の崩壊熱より蒸気発生量(0.07m³/s)を評価)



月間平均値が一番高い箇所のダストモニタの値を採用

3号機原子炉建屋の開口部のイメージ

※1/18:PCVガス管理システムについては、配管の一部に使用しているフレキシブルチューブおよび樹脂製ホースの鋼管化作業実施により、一時停止している。

2. 機器ハッチ

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①機器ハッチ
1/20	Cs-134	2.9E-7
	Cs-137	1.2E-6

ダストモニタ値	②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②	
			Cs-134	Cs-137
	2.6E-6	3.5E-6	1.1E-1	4.7E-1

(2)月間漏洩率評価: 19,409m³/h

3. PCVガス管理システム

(1)ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①PCVガス管理システム出口	核種	PCVガス管理システム出口 月間平均値(Bq/cm ³)
1/20	Cs-134	ND(1.1E-6)		
	Cs-137	ND(1.8E-6)		

ダストモニタ値	②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②	
			Cs-134	Cs-137
	2.0E-5	1.9E-5	5.5E-2	9.0E-2

(2)月間平均流量結果: 19m³/h

4. 放出量評価

$$\begin{aligned} \text{原子炉直上部+機器ハッチ(Cs-134)} &= 3.5E-6 \times 2.7E-1 \times 252 \times 1E6 + 3.5E-6 \times 1.1E-1 \times 19409 \times 1E6 &= 7.9E3Bq/時 \\ \text{原子炉直上部+機器ハッチ(Cs-137)} &= 3.5E-6 \times 1.5E0 \times 252 \times 1E6 + 3.5E-6 \times 4.7E-1 \times 19409 \times 1E6 &= 3.3E4Bq/時 \\ \text{PCVガス管理システム(Cs-134)} &= 1.9E-5 \times 5.5E-2 \times 19E6 &= 2.0E1Bq/時未満 \\ \text{PCVガス管理システム(Cs-137)} &= 1.9E-5 \times 9.0E-2 \times 19E6 &= 3.3E1Bq/時未満 \\ \text{PCVガス管理システム(Kr)} &= 8.5E1 \times 19E6 &= 1.6E9Bq/時 \\ \text{PCVガス管理システム(Kr被ばく線量)} &= 1.6E9 \times 24 \times 365 \times 3.0E-19 \times 0.0022 / 0.5 \times 1E3 &= 1.9E-5mSv/年 \end{aligned}$$

※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。

知的財産 取扱注意

5

2.4 4号機の放出量評価

1. 燃料取出し用カバー隙間

(1) ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	SFP近傍	①チェンジング プレイス近傍	カバー上部
1/6	Cs-134	ND(4.6E-7)	ND(4.9E-7)	ND(4.5E-7)
	Cs-137	ND(8.8E-7)	ND(8.7E-7)	ND(8.3E-7)

	②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②	
ダストモニタ値	2.2E-7	3.5E-7	Cs-134	2.2E0
			Cs-137	3.9E0

ダスト測定結果及び相対比より、放出量が最大となる箇所を採用

(2) 月間漏洩率評価: 4,964m³/h

2. 燃料取出し用カバー排気設備

(1) ダスト測定結果とダストモニタ値(単位Bq/cm³)

採取日	核種	①排気設備出口		②ダスト採取期間	月間平均	相対比 ①/②	
1/6	Cs-134	ND(2.4E-7)	ダストモニタ値	2.6E-7	2.4E-7	Cs-134	9.2E-1
	Cs-137	ND(4.4E-7)				Cs-137	1.7E0

(2) 月間排気設備流量: 50,000m³/h

3. 放出量評価

燃料取出し用カバー隙間+燃料取出し用カバー排気設備(Cs-134)

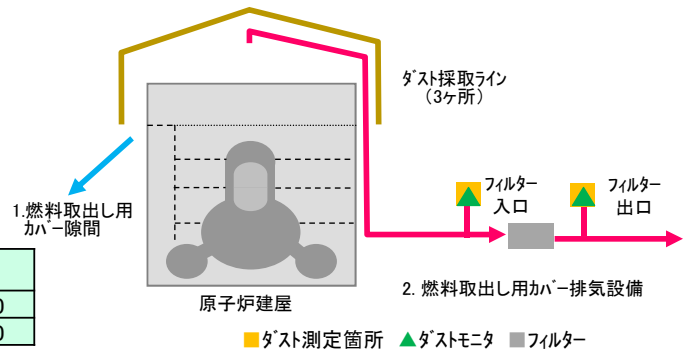
$$= 3.5E-7 \times 2.2E0 \times 4964 \times 1E6 + 2.4E-7 \times 9.2E-1 \times 50000 \times 1E6 = 1.5E4Bq/時未満$$

燃料取出し用カバー隙間+燃料取出し用カバー排気設備(Cs-137)

$$= 3.5E-7 \times 3.9E0 \times 4964 \times 1E6 + 2.4E-7 \times 1.7E0 \times 50000 \times 1E6 = 2.7E4Bq/時未満$$

※端数処理の都合上、合計が一致しない場合があります。知的財産 取扱注意

6



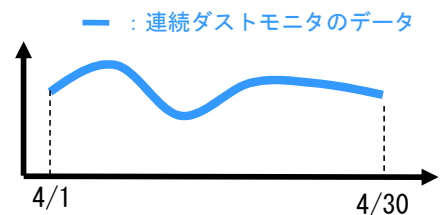
4号機原子炉建屋の開口部のイメージ

参考1 評価のイメージ

■ 月1回の空気中放射性物質濃度測定値と連続ダストモニタのデータから連続性を考慮した空気中放射性物質濃度を評価

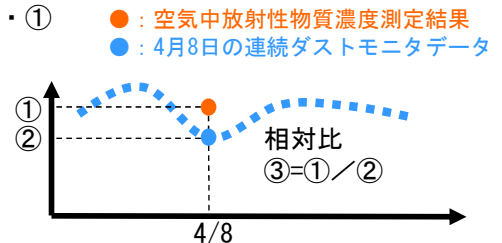
STEP1 月間の連続ダストモニタのトレンドを確認

※連続ダストモニタは、
全βのため被ばく評価に使用できない



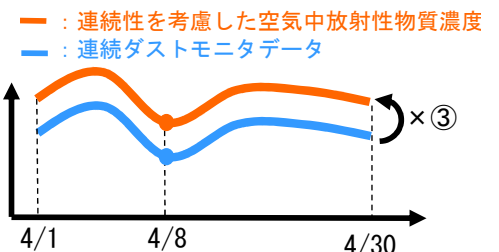
STEP2 月1回の空気中放射性物質濃度測定値と連続ダストモニタの値を比較

- ・例 4月8日に月1回の空気中放射性物質濃度測定 → 核種毎 (Cs134, 137) にデータが得られる . . . ①
- ・同時刻の連続ダストモニタの値を確認 . . . ②
- ・上記2つのデータの比を評価 . . . ③



STEP3 連続性を考慮した空気中放射性物質濃度を評価

- ・連続ダストモニタのデータに③相対比を乗じて、連続性を考慮した空気中放射性物質濃度を評価



知的財産 取扱注意

7

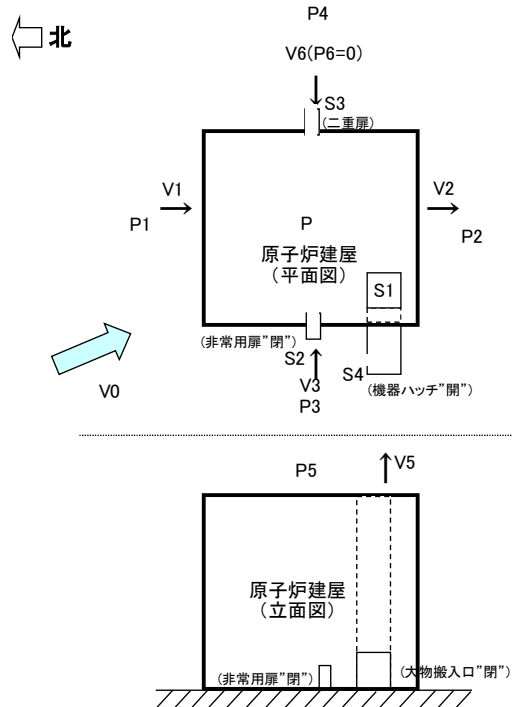
参考2 1号機建屋の漏洩率評価

■ 評価方法

空気漏洩量は外部風速、建屋内外圧差、隙間面積などから計算で求める。

■ 計算例

1月31日 北北西 1.3m/s



- V0: 外気風速 (m/s)
- V1: 建屋流入風速 (m/s)
- V2: 建屋流出風速 (m/s)
- V3: 建屋流出風速 (m/s)
- V4: 建屋流出風速 (m/s)
- V5: 建屋流出風速 (m/s)
- V6: 建屋流出風速 (m/s)
- P1: 上流側圧力 (北風) (Pa)
- P2: 下流側圧力 (北風) (Pa)
- P3: 上流側圧力 (西風) (Pa)
- P4: 下流側圧力 (西風) (Pa)
- P5: 上面部圧力 (Pa)
- P6: T/B内圧力 (0Pa)
- P: 建屋内圧力 (Pa)
- S1: 機器ハッチ隙間面積 (m²)
- S2: R/B非常用扉開口面積 (m²)
- S3: R/B二重扉開口面積 (m²)
- S4: R/B大物搬入口横扉 (m²)
- ρ: 空気密度 (kg/m³)
- C1: 風圧係数 (北風上側)
- C2: 風圧係数 (北風下側)
- C3: 風圧係数 (西風上側)
- C4: 風圧係数 (西風下側)
- C5: 風圧係数 (上面部)
- ζ: 形状抵抗係数

知的財産 取扱注意

参考2 1号機建屋の漏洩率評価

風速をVとすると、上流側、下流側の圧力は次のとおりとなる。

- 上流側 (北風): $P1=C1 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (1)
- 下流側 (北風): $P2=C2 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (2)
- 上流側 (西風): $P3=C3 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (3)
- 下流側 (西風): $P4=C4 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (4)
- 上面部: $P5=C5 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (5)

内圧をP、隙間部の抵抗係数をζとすると

- $P1-P=\zeta \times \rho \times V1^2 / (2g)$... (6)
- $P-P2=\zeta \times \rho \times V2^2 / (2g)$... (7)
- $P3-P=\zeta \times \rho \times V3^2 / (2g)$... (8)
- $P-P4=\zeta \times \rho \times V4^2 / (2g)$... (9)
- $P-P5=\zeta \times \rho \times V5^2 / (2g)$... (10)
- $P6-P=\zeta \times \rho \times V6^2 / (2g)$... (11)

空気流出入量のマスバランスは

$$(V1 \times S4 + V3 \times S2 + V6 \times S3) \times 3600 = (V2 \times 0 + V4 \times 0 + V5 \times S1) \times 3600$$

左辺と右辺の差を「Y」とすると

$$Y = (V1 \times S4 + V3 \times S2 + V6 \times S3) \times 3600 - (V2 \times 0 + V4 \times 0 + V5 \times S1) \times 3600$$

V1, V2, V3, V4, V5, V6は(6), (7), (8), (9), (10), (11)式により、Pの関数なので、「Y」がゼロになるように

Pの値を調整する

V0 (m/s)	C1	C2	C3	C4	C5	ζ	ρ (kg/m ³)
1.33	0.80	-0.50	0.10	-0.50	-0.40	2.00	1.20

S1 (m ²)	S2 (m ²)	S3 (m ²)	S4 (m ²)
25.48	0.00	0.29	0.10

P1 (Pa)	P2 (Pa)	P3 (Pa)	P4 (Pa)	P5 (Pa)	P6 (Pa)	P (Pa)
0.08664	-0.05415	0.01083	-0.05415	-0.04332	0	-0.04331

V1 (m/s)	V2 (m/s)	V3 (m/s)	V4 (m/s)	V5 (m/s)	V6 (m/s)	Y (m ³ /h)
1.03	0.30	0.66	0.30	0.01	0.59	0.00
IN	OUT	IN	OUT	OUT	IN	OK

※IN : 流入
OUT : 流出

漏洩率 1,012 m³/h

知的財産 取扱注意

参考2 1号機建屋の漏洩率評価

■ 週ごとの漏洩量評価（一例）

	1月29日			1月30日			1月31日			2月1日			2月2日			2月3日			2月4日		
	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)
西風	3.0	0.3	1,410	1.8	0.3	822	1.9	3.5	882	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西北西風	2.3	0.2	1,513	1.7	2.8	1,145	1.5	5.2	999	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北西風	3.1	3.5	2,240	1.4	5.0	1,006	1.0	2.5	701	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北西風	1.8	15.2	1,357	2.2	14.8	1,677	1.3	3.3	1,012	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北風	2.1	3.0	1,594	1.4	0.5	1,065	1.6	1.5	1,209	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北東風	1.3	0.7	989	0.0	0.0	0	1.9	0.3	1,408	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北東風	1.5	0.3	1,037	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東北東風	1.7	0.2	1,118	0.0	0.0	0	1.7	0.5	1,096	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東風	2.0	0.2	940	3.3	0.2	1,551	1.9	1.3	893	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東南東風	8.9	0.3	4,159	0.0	0.0	0	1.6	1.3	764	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.7	693	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.3	705	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.9	0.2	423	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南西風	2.9	0.2	1,363	0.0	0.0	0	1.4	0.3	634	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南西風	0.0	0.0	0	17.7	0.3	8,318	1.1	0.7	493	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西南西風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	1.5	710	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
漏洩日量 (m3)	36,892			36,985			20,788			0			0			0			0		

16方位毎の平均風速から漏洩率を前頁のように評価する。

■ 漏洩量合計

評価期間	1/1 ~ 1/7	1/8 ~ 1/14	1/15 ~ 1/21	1/22 ~ 1/28	1/29 ~ 1/31	漏洩量合計(m3)	評価対象期間(h)	漏洩率(m3/h)
週間漏洩量 (m3)	184,377	224,542	256,935	192,684	94,665	953,203	744	1,281

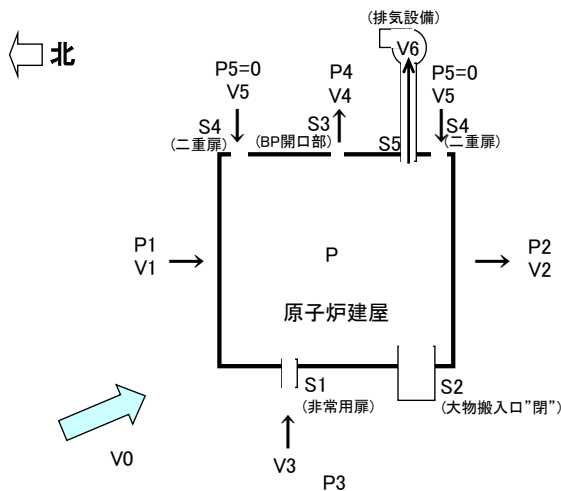
参考3 2号機ブローアウトパネル隙間の漏洩率評価

■ 評価方法

空気漏洩量は外部風速、建屋内外圧差、隙間面積などから計算で求める。

■ 計算例

1月31日 北北西 1.3m/s



- V0: 外気風速 (m/s)
- V1: 建屋流入風速 (m/s)
- V2: 建屋流出風速 (m/s)
- V3: 建屋流入風速 (m/s)
- V4: 建屋流出風速 (m/s)
- V5: 建屋流入風速 (m/s)
- V6: 排気風速 (m/s)
- P1: 上流側圧力(北風) (Pa)
- P2: 下流側圧力(北風) (Pa)
- P3: 上流側圧力(西風) (Pa)
- P4: 下流側圧力(西風) (Pa)
- P5: R/B内圧力 (0Pa)
- P: 建屋内圧力 (Pa)
- S1: 非常用扉開口面積 (m²)
- S2: 大物搬入口開口面積 (m²)
- S3: BP隙間面積 (m²)
- S4: R/B二重扉(南北)開口面積 (m²)
- S5: 排気ダクト面積 (m²)
- ρ: 空気密度 (kg/m³)
- C1: 風圧係数(北風上側)
- C2: 風圧係数(北風下側)
- C3: 風圧係数(西風上側)
- C4: 風圧係数(西風下側)
- ζ: 形状抵抗係数

参考3 2号機ブローアウトパネル隙間の漏洩率評価

風速をVとすると、上流側、下流側の圧力は次のとおりとなる。

- 上流側(北風): $P1=C1 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (1)
- 下流側(北風): $P2=C2 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (2)
- 上流側(西風): $P3=C3 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (3)
- 下流側(西風): $P4=C4 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (4)

内圧をP、隙間部の抵抗係数をζとすると

- $P1-P=\zeta \times \rho \times V1^2/(2g)$... (5)
- $P-P2=\zeta \times \rho \times V2^2/(2g)$... (6)
- $P3-P=\zeta \times \rho \times V3^2/(2g)$... (7)
- $P-P4=\zeta \times \rho \times V4^2/(2g)$... (8)
- $P5-P=\zeta \times \rho \times V5^2/(2g)$... (9)

空気流出入量のマスバランス式は

$$(V1 \times 0 + V3 \times (S1+S2) + V5 \times S4) \times 3600 = (V2 \times 0 + V4 \times S3 + V6 \times S5) \times 3600$$

左辺と右辺の差を「Y」とすると

$$Y = (V1 \times 0 + V3 \times (S1+S2) + V5 \times S4) \times 3600 - (V2 \times 0 + V4 \times S3 + V6 \times S5) \times 3600$$

V1, V2, V3, V4, V5は(5), (6), (7), (8), (9)式により、Pの関数なので、「Y」がゼロになるようにPの値を調整する

V0 (m/s)	C1	C2	C3	C4	ζ	ρ (kg/m³)
1.33	0.80	-0.50	0.10	-0.50	1.00	1.20
S1 (m²)	S2 (m²)	S3 (m²)	S4 (m²)	S5 (m²)		
2.075	0.000	3.500	4.150	0.500		

P1 (Pa)	P2 (Pa)	P3 (Pa)	P4 (Pa)	P5 (Pa)	P (Pa)
0.08664	-0.05415	0.01083	-0.05415	0	-0.02131

V1 (m/s)	V2 (m/s)	V3 (m/s)	V4 (m/s)	V5 (m/s)	V6 (m/s)	Y (m³/h)
1.33	0.73	0.72	0.73	0.59	2.78	0.00
IN	OUT	IN	OUT	IN	OUT(排気)	OK

※IN : 流入
OUT : 流出

漏洩率 9,228 m³/h

知的財産 取扱注意

参考3 2号機ブローアウトパネル隙間の漏洩率評価

週ごとの漏洩量評価 (一例)

	1月29日			1月30日			1月31日			2月1日			2月2日			2月3日			2月4日		
	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m³/h)
西風	3.0	0.3	23,026	1.8	0.3	13,012	1.9	3.5	14,030	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西北西風	2.3	0.2	19,250	1.7	2.8	14,300	1.5	5.2	12,323	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北西風	3.1	3.5	25,514	1.4	5.0	10,723	1.0	2.5	6,997	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北西風	1.8	15.2	12,909	2.2	14.8	16,297	1.3	3.3	9,228	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北風	2.1	3.0	12,476	1.4	0.5	7,120	1.6	1.5	8,585	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北東風	1.3	0.7	6,427	0.0	0.0	0	1.9	0.3	9,361	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北東風	1.5	0.3	7,656	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東北東風	1.7	0.2	13,776	0.0	0.0	0	1.7	0.5	13,421	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東風	2.0	0.2	16,805	3.3	0.2	30,420	1.9	1.3	15,754	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東南東風	8.9	0.3	89,255	0.0	0.0	0	1.6	1.3	12,976	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.7	7,789	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.3	7,498	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.9	0.2	3,170	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南西風	2.9	0.2	21,896	0.0	0.0	0	1.4	0.3	9,391	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南西風	0.0	0.0	0	17.7	0.3	149,215	1.1	0.7	7,614	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西南西風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	1.5	12,250	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
漏洩日量 (m³)	378,734			398,567			256,845			0			0			0			0		

16方位毎の平均風速から漏洩率を前頁のように評価する。

漏洩量合計

評価期間	1/1 ~ 1/7	1/8 ~ 1/14	1/15 ~ 1/21	1/22 ~ 1/28	1/29 ~ 1/31	漏洩量合計(m³)	評価対象期間(h)	漏洩率(m³/h)
週間漏洩量 (m³)	2,178,402	2,555,779	3,049,392	2,409,866	1,034,146	11,227,586	744	15,091

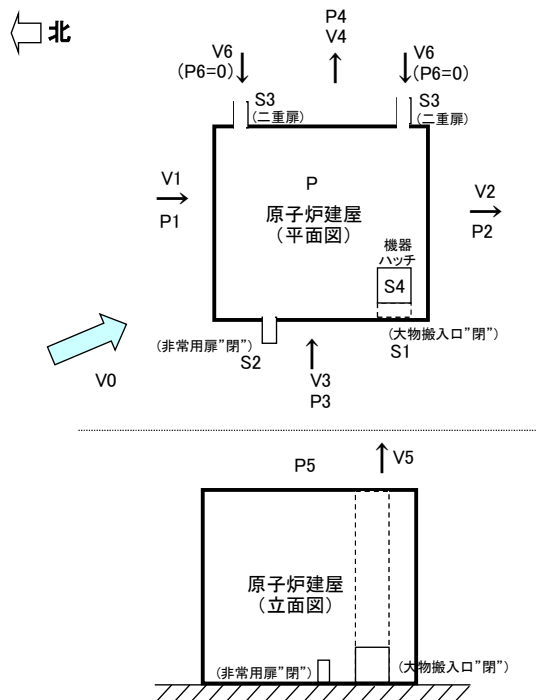
参考4 3号機原子炉建屋機器ハッチの漏洩率評価

■ 評価方法

空気漏洩量は外部風速、建屋内外圧差、隙間面積などから計算で求める。

■ 計算例

1月31日 北北西 1.3m/s



- V0: 外気風速 (m/s)
- V1: 建屋流出入風速 (m/s)
- V2: 建屋流出入風速 (m/s)
- V3: 建屋流出入風速 (m/s)
- V4: 建屋流出入風速 (m/s)
- V5: 建屋流出入風速 (m/s)
- V6: 建屋流出入風速 (m/s)
- P1: 上流側圧力 (北) (Pa)
- P2: 下流側圧力 (南) (Pa)
- P3: 上流側圧力 (西) (Pa)
- P4: 下流側圧力 (東) (Pa)
- P5: 上面部圧力 (Pa)
- P6: T/B内圧力 (0Pa)
- P: 建屋内圧力 (Pa)
- S1: R/B大物搬入口面積 (m²)
- S2: R/B非常用扉開口面積 (m²)
- S3: R/B二重扉開口面積 (m²)
- S4: 機器ハッチ隙間面積 (m²)
- ρ: 空気密度 (kg/m³)
- C1: 風圧係数(北)
- C2: 風圧係数(南)
- C3: 風圧係数(西)
- C4: 風圧係数(東)
- C5: 風圧係数(上面部)
- ζ: 形状抵抗係数

知的財産 取扱注意

参考4 3号機原子炉建屋機器ハッチの漏洩率評価

風速をVとすると、上流側、下流側の圧力は次のとおりとなる。

- 上流側(北): $P1 = C1 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (1)
- 下流側(南): $P2 = C2 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (2)
- 上流側(西): $P3 = C3 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (3)
- 下流側(東): $P4 = C4 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (4)
- 上面部: $P5 = C5 \times \rho \times V0^2 / (2g)$... (5)

内圧をP、隙間部の抵抗係数をζとすると

- $P1 - P = \zeta \times \rho \times V1^2 / (2g)$... (6)
- $P - P2 = \zeta \times \rho \times V2^2 / (2g)$... (7)
- $P3 - P = \zeta \times \rho \times V3^2 / (2g)$... (8)
- $P - P4 = \zeta \times \rho \times V4^2 / (2g)$... (9)
- $P - P5 = \zeta \times \rho \times V5^2 / (2g)$... (10)
- $P6 - P = \zeta \times \rho \times V6^2 / (2g)$... (11)

空気流出入量のマスバランス式は

$$(V1 \times 0 + V3 \times (S1 + S2) + V6 \times S3) \times 3600 = (V2 \times 0 + V4 \times 0 + V5 \times S4) \times 3600$$

左辺と右辺の差を「Y」とすると

$$Y = (V1 \times 0 + V3 \times (S1 + S2) + V6 \times S3) \times 3600 - (V2 \times 0 + V4 \times 0 + V5 \times S4) \times 3600$$

V1~V6は(6)~(11)式により、Pの関数なので、「Y」がゼロになるように

Pの値を調整する

V0 (m/s)	C1	C2	C3	C4	C5	ζ	ρ (kg/m ³)
1.33	0.80	-0.50	0.10	-0.50	-0.40	2.00	1.20

S1 (m ²)	S2 (m ²)	S3 (m ²)	S4 (m ²)
0.00	0.00	6.05	31.36

P1 (Pa)	P2 (Pa)	P3 (Pa)	P4 (Pa)	P5 (Pa)	P6 (Pa)	P (Pa)
0.08664	-0.05415	0.01083	-0.05415	-0.04332	0	-0.04177

V1 (m/s)	V2 (m/s)	V3 (m/s)	V4 (m/s)	V5 (m/s)	V6 (m/s)	Y (m ³ /h)
1.02	0.32	0.66	0.32	0.11	0.58	0.00
IN	OUT	IN	OUT	OUT	IN	OK

※IN : 流入

OUT: 流出

漏洩率

12,710 m³/h

知的財産 取扱注意

参考4 3号機原子炉建屋機器ハッチの漏洩率評価

■ 週ごとの漏洩量評価（一例）

	1月29日			1月30日			1月31日			2月1日			2月2日			2月3日			2月4日		
	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m3/h)
西風	3.0	0.3	28.669	1.8	0.3	16.724	1.9	3.5	17.930	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西北西風	2.3	0.2	21.980	1.7	2.8	16.639	1.5	5.2	14.519	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北西風	3.1	3.5	29.943	1.4	5.0	13.443	1.0	2.5	9.365	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北西風	1.8	15.2	17.044	2.2	14.8	21.056	1.3	3.3	12.710	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北風	2.1	3.0	20.015	1.4	0.5	13.379	1.6	1.5	15.184	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北東風	1.3	0.7	12.423	0.0	0.0	0	1.9	0.3	17.679	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北東風	1.5	0.3	13.857	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東北東風	1.7	0.2	16.246	0.0	0.0	0	1.7	0.5	15.927	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東風	2.0	0.2	19.113	3.3	0.2	31.536	1.9	1.3	18.157	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東南東風	8.9	0.3	84.574	0.0	0.0	0	1.6	1.3	15.529	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.7	14.096	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.3	14.335	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.9	0.2	8.601	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南西風	2.9	0.2	27.713	0.0	0.0	0	1.4	0.3	12.901	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南西風	0.0	0.0	0	17.7	0.3	169.147	1.1	0.7	10.034	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西南西風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	1.5	14.441	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
漏洩日量 (m3)	488,170			500,593			333,357			0			0			0			0		

16方位毎の平均風速から漏洩率を前頁のように評価する。

■ 漏洩量合計

評価期間	1/1 ~ 1/7	1/8 ~ 1/14	1/15 ~ 1/21	1/22 ~ 1/28	1/29 ~ 1/31	漏洩量合計(m3)	評価対象期間(h)	漏洩率(m3/h)
週間漏洩量 (m3)	2,879,962	3,386,926	3,747,200	3,103,899	1,322,120	14,440,106	744	19,409

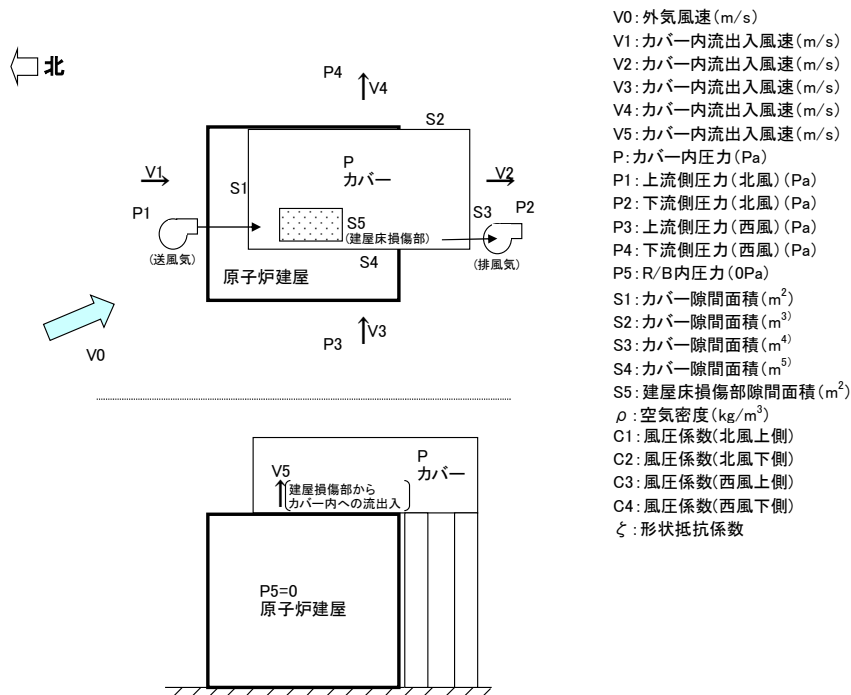
参考5 4号機燃料取出し用カバーの漏洩率評価

■ 評価方法

空気漏洩量は外部風速、建屋内外圧差、隙間面積などから計算で求める。

■ 計算例

1月31日 北北西 1.3m/s



参考5 4号機燃料取出し用カバーの漏洩率評価

風速をVとすると、上流側、下流側の圧力は次のとおりとなる。

- 上流側(北風): $P1=C1 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (1)
- 下流側(北風): $P2=C2 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (2)
- 上流側(西風): $P3=C3 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (3)
- 下流側(西風): $P4=C4 \times \rho \times V0^2/(2g)$... (4)

内圧をP、隙間部の抵抗係数をζとすると

- $P1-P=\zeta \times \rho \times V1^2/(2g)$... (5)
- $P-P2=\zeta \times \rho \times V2^2/(2g)$... (6)
- $P3-P=\zeta \times \rho \times V3^2/(2g)$... (7)
- $P-P4=\zeta \times \rho \times V4^2/(2g)$... (8)
- $P5-P=\zeta \times \rho \times V5^2/(2g)$... (9)

空気流入量のマスバランス式は

$$(V1 \times S1 + V3 \times S4 + V5 \times S5) \times 3600 = (V2 \times S3 + V4 \times S2) \times 3600$$

左辺と右辺の差を「Y」とすると

$$Y = (V1 \times S1 + V3 \times S4 + V5 \times S5) \times 3600 - (V2 \times S3 + V4 \times S2) \times 3600$$

V1, V2, V3, V4, V5は(5), (6), (7), (8), (9)式により、Pの関数なので、「Y」がゼロになるように

Pの値を調整する

V0 (m/s)	C1	C2	C3	C4	ζ	ρ (kg/m ³)
1.33	0.80	-0.50	0.10	-0.50	2.00	1.20
S1 (m ²)	S2 (m ²)	S3 (m ²)	S4 (m ²)	S5 (m ²)		
0.44	0.81	0.46	0.81	4.00		

P1 (Pa)	P2 (Pa)	P3 (Pa)	P4 (Pa)	P5 (Pa)	P (Pa)
0.08664	-0.05415	0.01083	-0.05415	0	-0.00037

V1 (m/s)	V2 (m/s)	V3 (m/s)	V4 (m/s)	V5 (m/s)	Y (m ³ /h)
0.84	0.66	0.30	0.66	0.06	0.00
IN	OUT	IN	OUT	IN	OK

※IN : 流入
OUT: 流出

漏洩率 3.011 m²/h

知的財産 取扱注意

参考5 4号機燃料取出し用カバーの漏洩率評価

■ 週ごとの漏洩量評価 (一例)

	1月29日			1月30日			1月31日			2月1日			2月2日			2月3日			2月4日		
	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)	風速 (m/s)	時間 (hr)	漏洩率 (m ³ /h)
西風	3.0	0.3	8,154	1.8	0.3	4,756	1.9	3.5	5,099	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西北西風	2.3	0.2	5,224	1.7	2.8	3,955	1.5	5.2	3,451	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北西風	3.1	3.5	7,116	1.4	5.0	3,195	1.0	2.5	2,226	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北西風	1.8	15.2	4,038	2.2	14.8	4,988	1.3	3.3	3,011	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北風	2.1	3.0	6,585	1.4	0.5	4,402	1.6	1.5	4,995	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北北東風	1.3	0.7	2,943	0.0	0.0	0	1.9	0.3	4,188	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
北東風	1.5	0.3	3,293	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東北東風	1.7	0.2	3,861	0.0	0.0	0	1.7	0.5	3,786	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東風	2.0	0.2	5,436	3.3	0.2	8,969	1.9	1.3	5,164	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
東南東風	8.9	0.3	19,864	0.0	0.0	0	1.6	1.3	3,647	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.7	3,311	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南東風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	0.3	3,357	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	0.9	0.2	2,817	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南南西風	2.9	0.2	6,491	0.0	0.0	0	1.4	0.3	3,022	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
南西風	0.0	0.0	0	17.7	0.3	39,726	1.1	0.7	2,357	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
西南西風	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0	1.5	1.5	3,392	0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0	
漏洩日量 (m ³)	121,798			119,691			85,271			0			0			0			0		

16方位毎の平均風速から漏洩率を前頁のように評価する。

■ 漏洩量合計

評価期間	1/1 ~ 1/7	1/8 ~ 1/14	1/15 ~ 1/21	1/22 ~ 1/28	1/29 ~ 1/31	漏洩量合計(m ³)	評価対象期間(h)	漏洩率(m ³ /h)
週間漏洩量 (m ³)	724,918	875,605	957,961	807,619	326,760	3,692,863	744	4,964